

## 1. 北海道七飯町 申請資料抜粋

地域のプロジェクト名	恋人の聖地を活用したウェディングプロモーション事業
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	北海道七飯町
1. ご当地・施設の特徴	<p>七飯町は秀峰「北海道駒ヶ岳」「大沼」「小沼」「じゅんさい沼」と126の小島が織りなす雄大かつ繊細な景観を誇る、南北海道唯一の国定公園である「大沼国定公園」を擁し、道内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>大沼国定公園は大正5年に静岡県三保の松原、大分県耶馬溪と並び「日本新三景」に選定されたほか、名曲「千の風になって」の生誕地として、さらには、平成24年7月に「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」、いわゆるラムサール条約登録湿地に登録されるなど、その優れた景観や自然環境は、国内外において高く評価されている。</p> <p>人口減少が叫ばれている中、七飯町においても例外ではなく地域経済の縮小、衰退が懸念されており、このような状況を打破するためにも七飯町固有の歴史や資源を活用した観光振興による交流人口の増加を図ることが必要不可欠である。</p> <p>このようななか、町内に存在する函館七飯 Gondola 山頂から見る景色は、これまでとは違うアングルでの駒ヶ岳、大沼も一望でき、春の「雲海」、秋の「紅葉」、冬の「霧氷」など四季折々に異なる景色は通年誘客に期待できるコンテンツとなっている。</p> <p>また、函館七飯 Gondola の山頂カフェに設置したピークベルはプロポーズする場所として選定された恋人の聖地サテライト（平成30年9月1日選定）であり、新型コロナウイルス感染症の発生から、ウェディングフォトウェディングの需要増となっており、新たな観光スポットとなり得る存在である。</p>
2. 地方創生に結びつく活動目標・目的などについて	<p>「恋人」という特化した本事業を実施することで、より明確かつ新たな誘客層の掘り起こし、七飯町を訪れる観光客が当町の「ひと・自然・食」に触れることで七飯町のファンとなりリピーターになってもらうことは、事業者利益をもたらすばかりでなく、町民の地域への愛着、交流人口増加だけでなく、定住・移住の促進を期待できる。</p>
3. 地方創生に結びつく活動・実績などについて	<p>本事業実施後には、当町が運営する SNS 等へ掲載し、新たな誘客層へのアプローチを行い、観光客増を促進する。</p> <p>最終的には民間企業が連携し、プランの構築、事業展開していく予定。</p>

## 7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)

### 写真



#### (説明文)

大沼国定公園は、カヌー、キャンプ、サイクリング、わかさぎ釣りなどをはじめとした四季を通じての体験型コンテンツを有し、自然を活かした良好なロケーションをウェディング撮影のストーリーと結び付けてPRすることで、新たな誘客層へのアプローチが可能。

### 写真



#### (説明文)

自然のなかでのウェディング(ラスティックウェディング)は、海外で需要が高まってきている形態。

実施場所は非常に重要な要素であり、各所に優れた景観が配置されている当町は北海道内でも限られた存在。

自然に囲まれて行うウェディングは海外にいるような特別な空間を創出することが可能となり、今後の当町の強み。

### 写真



#### (説明文)

披露パーティは山頂カフェ内で行われ、提供されるメニューにおいても、特産品であるりんごを使ったスパークリングワイン「函館ななえシードル」や地ビール「大沼ビール」ほか、「王様しいたけ」、「チーズ」などを活用することで、特産品PRはもちろん、生産者の所得増につながる。

### 写真



#### (説明文)

恋人の聖地であるピークベルのPRにより、大沼という観光資源のさらなる磨き上げとなり、また、恋人、プロポーズの場所として新しい誘客コンテンツとなる。

さらには、春の「雲海」、秋の「紅葉」、冬の「霧氷」など四季折々に異なる景色は通年誘客が期待できる。